

The 消防団の仕事



▲遭難防止のため、目印を木の枝などにつけています



▲山岳訓練

火災・捜索活動の現場

1 消火活動

消防署と連携して消火活動を行います。特に消防署から遠い地区では、消防車の到着までに初期消火を行い、被害を最小限に食い止める活動をしています。

2 二次災害の予防

延焼を防ぐための近辺の監視、危険物の移動、付近の住民の安全確保などを行います。

3 交通整理

消火活動を円滑に行うことができるように、現場近辺の交通整理を行います。

4 後方支援

消火用水の中継送水、防火水槽への水の補給などを行います。

5 現場の監視

鎮火後の現場の警戒を行います。

6 捜索活動

警察からの要請があれば行方不明者の捜索を行います。特に市には藤原岳、竜ヶ岳があり、遭難事故が発生しています。そのため団員は事前に山岳訓練を実施し、万が一に備えて準備を整えています。



いなべ市消防団
小澤団長に
お話を伺いました



「サラリーマン団員」が増加
新時代に対応が求められています

近年、消防団に対する役割が刻々と拡大しつつあります。特に近年は、台風や集中豪雨などの自然災害への対応が多くなっています。また、火災などでは建物構造が複雑になってきているため現在、消火活動にも高い知識と判断、行動力が求められることとなります。そのためには、団員にはより充実した研修や訓練と、現場へのすばやい到着が不可欠です。しかし、こうした状況にあるにもかかわらず、企業に勤める団員、いわゆる「サラリーマン団員」が増えており、日ごろの研修や訓練に参加しづらい、いざという時の呼び出しに対応できないといった状況が多くなってきています。

これから先のことを考えると、地域の安全を守るためには誰かがやらなければいけないということをおみなさんにも考えてほしいと思います。

消防団幹部・新入団員の教養訓練

消防団幹部は、団の幹部として必要な知識、技術、指揮能力の向上を図り、消防団の指導員を養成することを目的とし、また、新入団員は消防団員として基礎的な知識や技術の習得を目的として合計34人が訓練に参加しました。幹部訓練では、火災防御訓練や現場指揮、安全管理などを行い、新入団員は、ホース延長訓練や規律訓練など、さまざまな知識や技術の習得に汗を流しました。

消防団員募集

支えあいの輪を広げたい…
一緒に自分たちのまちを守りませんか

減少傾向にある消防団員。大災害が頻発する中で、地域防災の要として消防団員が必要とされています。あなたも、私たちと一緒に消防団の活動をしませんか？

◆入団資格：20歳以上で市に居住している方



団員弁庁舎 総務課 T 74-5805 F 74-5800